



元気な海士

地域活性化や産業振興のための活動
パワー溢れる海士人の情報を掲載！

「わたらの海はわたらが守る」 ～植樹に込める想い

漁業は海士の主産業。しかし近年、沿岸漁業の漁獲量・単価が低迷し、燃料高騰や漁民の高齢化、担い手・後継者不足の深刻化など、さまざまな課題を抱えています。さらに、自然豊かな海域を自負してきた島漁民にとって他人事と思っていた「磯焼け」が進行しはじめており、この島の水産業はまさに危機的状況です。そんな中、なんとか解決の糸口を見いだそうと、海士町漁業協同組合が中心となって提案されたのが、海岸域での植樹。行政と漁民の協働による、環境に配慮した持続可能な海域＝‘里海’再生へのスタートが切られました。

「磯焼け対策ガイドライン(水産庁)」によると、降雨のあと雨水として海に流れ込む浮遊物質は海の透視度を下げて藻類の光合成を阻害してしまう上、その有機物の分解に溶存酸素(水中に溶けている酸素)が消費されるため、生態系に大きな影響を与えます。また、浮泥が堆積すると海藻の着生(ちやくせい。岩盤などに根を張ること)や生長が阻害されます。つまり、雨水による表土流出は藻場に大きな影響を及ぼすのです。

そのような影響を少しでも軽減するため、海士は静かに、そして大きく動きました。時は3月19日。まだ肌寒い早朝から、漁師を中心にボランティア植樹が行われました。樹種は抵抗性クロマツ150本。総勢約100名にも及ぶ参加者たち一人ひとりが、近い未来の夢を丁寧に植え付けました。参加した漁師さんからは「この一本の松からすべてがはじまったなあ」という声が聞かれ、《植樹→藻場造成(海の環境保全)→漁場形成→漁獲向上(やる気)》という認識が定着したのだと改めて感じました。それは、ただ単に木を植え付けるのではなく、“気”を植えた瞬間でもあったのです。

この島で古くから(また新たに)水産業を営み、海に支えられ育まれてきた志士として、無限ではない海の資源をみんなで守り育てる・・・そんなサムライのような志を持つようになり、ふと、「海士町」の名の由縁は「海のサムライのまち」ではないかと本気で感じた一日でした。

産業創出課 磯谷光司



お届けしました！ 千本桜に託した 未来への手紙

町民総参加をモットーに海士らしい桜の景観づくりに取り組んだ、『海士町千本桜構想』。平成15年から4年をかけて、のべ2500名余りの皆さんにより、強風や塩害に強いオオシマザクラとヤマザクラなど計1550本もの桜の植樹を行いました。

最終年度(平成18年)の植樹の際、家族や友人などに宛てた『5年後に届く記念メール』を数名の方が投函。町が大切に預かりしていたその手紙が、今春、約束どおり発送されました。『未来への手紙』には何が書かれていたのでしょうか…。



5年ごしの手紙、確かにお届けしました(金光寺の桜と共に、発送前に撮影)

観光や経済交流について懇談会

3月7日、第23回境港商工会議所・隠岐地区商工会役員懇談会がマリポートホテル海士で開催されました。境港市産業環境部長の山本修氏、島前の3町村長など計28名が出席され、海士町観光協会事務局長の青山富寿生氏が「海士町及び観光協会の方針と取り組み、観光の現状」について説明されたほか、特産品の基準やリピーター確保課題、空き店舗の有効活用、海の駅構想、隠岐航路問題等について、活発な意見交換がありました。

隠岐地区商工会協議会事務局（隠岐國商工会）

中野さん川柳「男女共同参画かるた」に!

「男女共同参画かるた」((財)しまね女性センター主催)に、中野勝枝さん(御波)の応募作『先入観 捨てて互いの個性知る』が採用されました。応募数は県内から1629点。中野さんは、「女だ男だという先入観をもたず、職場でも夫婦でもその人の持ち味をみつけて認め合っていくものです」と語っています。



小谷家跡に植樹

3月13日、隠岐牛店(菱浦)の裏にある土蔵の前土地所有者であった小谷哲子さんと孫の雄司さんが来町され、跡地に記念植樹を行いました。

哲子さんは、初代海士村長の分家にあたる小谷康之さん(故人)の奥様です。康之さんは、竹下登元首相と松江の高校以来の親友であり、日本鋼管に勤められ長年米国で勤務されていたそうです。

今回の植樹は、哲子さん自身が高齢となり最後の来町という思いから、申し出があり実現しました。雄司さんにとっては、小谷家のルーツを知る旅となったようです。小谷様からは今回の植樹にあわせて高額なご寄付を戴きました。誠にありがとうございます。

(環境整備課)



「まめな」料理教室

3月22日、崎文化センターにて「男の料理教室」が行われました。これは崎の男性たちによる「まめな会」の公民館活動で、レシピ考案から食材調達、調理までぜんぶ男性だけでやって、みんなでワイワイ食べる!という会。毎年4回以上行われており、この日は40代から80代まで13人が集まりました。



活動の最初の主旨は、奥さんが風邪をひいた時などにも自分でちゃんと料理できるようにするため。しかし何年も継続するにつれ、漁場情報を教えあう情報交換や、世代間交流の場としても意味を持つようになってきたそうです。この日のメインは白子入りのタラ鍋。他にもアジ刺や旬のワカメなど、漁師町らしい「馳走が並んでいました!」

【海藻】連載第4回

海藻サプリ講演会

美白・美肌に瘦身、認知症予防まで海藻の可能性に期待大!

4月12日、保健福祉センターひまわりにて、海藻のマルチタスク(水産機能性物質)の効果を紹介する「美肌、美白、ダイエット、血液サラサラ」講演会(プラス事業海士町推進協議会主催)が開催されました。

講師にお招きした矢澤一良先生は、予防医学やヘルスフード科学、食品薬理学などの分野の第一人者で、約20年前にマグロ等の眼窩脂肪に含まれるDHA(ドコサヘキサエン酸)を発見し世の中に普及させたことでも知られる著名な研究者です。



講演では、医薬品ではなく食べ物による予防医学の大切さが強調され、魚食が心臓病を抑制するという調査結果が米国で出ていること、マルチタスクには認知症予防効果や精神安定作用、持久力増強作用があること、特にコンブにはデトックス(体に良くないものを吸収阻害・排泄促進)の効果が高いことなどを、豊富な実験結果を示しながら解説されました。

質疑応答では、参加者から海士のアカモクについて質問が寄せられました。アカモクは抗肥満作用が高くサプリメント等の商品化も有望であることや、加工して粘りが無くなっても有効成分は残ることなど、わかりやすく説明して下さいました。

矢澤先生は、「海士に豊富にある海藻は、まさに宝物。その宝を掘り起こして、継続して食べてもらえるような商品(おやつやサプリメント等)を開発し、広く世に出したい」と語っておられます。

宮城・仙台市内へ災害支援 〜海士町社会福祉協議会

東日本大震災の被災地で災害ボランティアセンターの運営を支援するため、全国の社会福祉協議会(社協)の職員派遣が行われています。これは、全国都道府県・指定都市の社協を6ブロックに分け、職員が1週間程度を単位に現地に入り、岩手県・宮城県・福島県の支援を行うものです。



出発前の朝礼で、「みんなの力を感じながら頑張ります」と挨拶していた瀧川さん

中・四国ブロック社協は、宮城県を担当。海士町社協の瀧川千恵子さんは、4月19日から1週間、宮城県仙台市において災害ボランティアコーディネーターとして復興支援に携わって来られました。任務を終えて戻られた後、4月28日にお話を伺いました。

※以下、瀧川さんのお話です

『災害ボランティアセンターでの仕事は、ボランティアの方と現場ニーズ(支援要請)とのマッチングです。まず受付をして、ボランティア活動保険の手続きなどを確認した後、支援の受け入れ先を調整し、必要な資材や現場までの地図を渡します。時には同行し、数時間の支援活動を行ったりもしました。』

市内5区の受付人数の合計は、4月24日までの累計で2万6,378人でした。新規も継続も毎日大勢いらっしゃるので、現場との調整がとても大切です。中心地から車で40分くらい海側へ移動すると、様子が一变し、広大な被災地が広がります。そこには本当に何もなくて、声もでないほどショック

でした。その土地に住んでいた人の心の痛みは計り知れません。

精一杯支援しなければと思ったときに実感できたのは、海士の社協のみんながいるという心強さと、全国社協のネットワークや支援体制の強さです。これからは現地社協の通常業務の支援も必要になってきますが、海士町社協からも、時期は未定ですが、継続的な職員派遣ができればいいと思っています』

〈支援の御礼・海士町の避難対策について〉

東日本大震災で被災された方々への災害支援金や支援物資の収集につきまして、町民の皆さまには多数のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回の震災の教訓から、海士町では、各地区の避難所が適切に設定されているかどうかの確認や、津波の際の避難のしかたなどの見直し、避難訓練の実施など、地域の防災力の向上にむけた対策を検討しております。お問い合わせは、総務課・消防防災係まで。

【TEL】2・0113

統一地方選挙 海士町議会議員一般選挙

このたびの統一地方選挙では、4月10日の島根県知事選挙に続いて24日に海士町議会議員一般選挙を執り行いました。町議選は特に身近な選挙であったので、投票率は各投票区で90%を超え、全体でも県知事選の79.57%をはるかに上回る、89.96%となりました。

平成23年4月24日執行の海士町議会議員一般選挙の結果は、左のとおりです。

候補者氏名	得票数
高松 照佳	261
上田 正子	218
中村 等光	192
亀谷 潔	183
寺下 雅人	173
仁田 收	150
柏原 廣行	140
波多 紀昭	140
花岡 美近	122
古濱 正之	109
松田 修一	61

※新しい正・副議長については、P14を参照下さい。なお、新議会の構成(各委員会等)についての詳細は、次号の「議会だより」にて掲載します。



新町議の皆さま、よろしくお願いたします(4月25日、当選証書付与式にて撮影)